

平成 30 年度
岩臨技定時総会のご案内

2018/5/26 (土曜日)

大通会館 リリオ 3F イベントホール

盛岡市大通1丁目11-8 019 (623) 2520

13:30 ~ 定時総会

15:00 ~ 研修会『エコー検査の基礎』

講師：土井尻医院 鎌田恭子先生

第4回「地域ニューリーダー育成研修会」参加報告

岩手医科大学附属病院 畠山裕司

平成30年1月12日から14日にかけて日臨技会館にて、第4回「地域ニューリーダー育成研修会」が開催されました。各都道府県から代表者1名が参加し、今回私が岩臨技より推薦をいただき参加させていただきました。今回で4回目となり、初めて47都道府県全代表が集まる予定でしたが、残念ながら1県がインフルエンザのため急遽欠席となり、47都道府県すべてが集まることは叶いませんでした。

この研修会は、日臨技および都道府県技師会の将来を担う次世代のリーダー人材育成を目的とし、短期中期の事業計画作成方法や問題解決策を導き出すために必要なノウハウを学ぶというものでした。実際に日臨技事業を題材にオフサイトミーティングとステップ表(MTS=Management by Target Setting: 目標設定を通じた管理)という考え方と手法を用いて、5~6名のグループに分かれて、実践形式で進行していきました。

オフサイトミーティングとは「気楽に真面目な話をする」をコンセプトとし、問題を分析し対策を考える問題解決型の話し合いではなく、それぞれの思いや考えをありのままに共有し、相談や協力がしやすくなる関係性をつくり、チームとしての一体感や創造的な活力を生み出していくことを目的とする考え方です。

ステップ表(MTS)とは、目標共有・全員参加・自力実行をコンセプトとし、目標達成にむけてのストーリーやキーワード、行動のステップ、協力者の共感、5W1Hなど必要な情報を1枚の紙にまとめ「見える化」することで、目標達成イメージを具体的にする手法です。なかでも、現状の問題点を整理する際に用いたトヨタの「なぜなぜ5回」の思考は、原因を突き止めるうえでもとても大切なことであると感じました。「なぜ」を5回自問自答することによって、事象の原因をより深掘りし、ものの因果関係や、その裏に潜む本当の原因を突きとめる事が出来るというものです。普段の業務でも実践することができ、業務改善などに活用できると思いました。

研修会は、なかなかタイトなスケジュールでしたが、グループの皆が目標達成に向けて様々なディスカッションをすることができたことで、大変楽しく有意義な研修会となりました。私のグループは山形県、大阪府、兵庫県、山口県、熊本県といったメンバー構成でしたが、3日間とはいえ各地域から集まった方々とディスカッションし考えることができ、担当する部門や役職は違えども研修会を通してひとつの方向に向かうことができたと思います。

最後になりましたが、このような機会を与えていただいた関係者の方々に感謝申し上げます。



第 65 回盛岡地区技師会研修会に参加して

独立行政法人 国立病院機構 岩手病院 川嶋 亜矢子

平成 30 年 1 月 13 日 (土) によぼういがく協会で開催された第 65 回盛岡地区技師会研修会に参加してまいりました。

第 1 部では盛岡赤十字病院医療技術部 放射線画像診断技術課の川原 猛先生より MRI の原理、画像の見方、症例、アーチファクトについてご講演いただきました。

私の MRI の知識と言えば T1 強調は水が黒く T2 強調は水が白くうつるという程度で、その特性やモダリティの使い分けをきちんと理解できておりませんでした。しかし今回川原先生の「MRI の最たるものはコントラストがつくことです」というお言葉で一步理解が進んだ気がします。ご存知の方も多いと思いますが、MRI は CT より組織コントラストが明瞭なため軟部組織や脳梗塞の描出に適しています。また水や脂肪の信号を抑制させる方法など T1T2 と微妙にコントラストが異なる撮り方があって、同じ断面を複数の方法で撮影して見比べることで病変の成分を判別するそうです。かなり奥が深く理解するには時間がかかりますが、これを機に少しずつ画像を診る力をつけようと思いました。

また禁忌事項のお話も衝撃的でした。MRI 対応外のペースメーカーを入れた方が検査すると、リード線が発熱して心筋が焼ける可能性があるそうです。怖いですね…。ちな

みに本体はチタン製なので磁力で引っ張られることはないそうです。この先ひょっとしたら放射線科との部門連携という形で MRI を撮る日が来るかもしれません。基礎知識を備えておくことも大事ですね。

第 2 部では盛岡市内にあるマツムラ健康館の先生ご指導のもと、数あるヨガのジャンルからハタヨガなるものを体験しました。はじめに合掌と「ナマステ」の言葉でスタートです。ナマステは気軽な



挨拶かと思いきや、ヨガの世界で「あなたに敬意を払います (感謝します)」というニュアンスの神聖な言葉でした。呼吸を整え、体の緊張をとくように足→手→肩→頭を動かして 40 分。心身がリラックスした頃に「ここまでが準備運動です」と仰られ「まだ本番じゃなかったんかい笑」とつつこむ自分がいました。心の浄化に 40 分かけても雑念が入るのは一瞬です。その後 12 の動作からなる太陽礼拝のポーズを習って終了。体を動かす習慣がないため翌日軽い筋肉痛になりましたが、それも含めて気持ちよかったです。

昨年 SUP というサーフボードに立ってパドルを漕ぐウォータースポーツに挑戦したのですが、今年はその進化形の SUP ヨガに挑戦し google の CM っぽい自分を演出するのもありかな～と考えてしまいました。欲を捨てるって難しいですね。心身ともに磨かれ充実した研修会でした。講師の先生方、盛岡地区役員の皆さまありがとうございました。

平成 29 年度第 5 回理事会 議事録

日時：平成 30 年 3 月 2 日（金曜日）

場所：アイーナ 8 階 801 会議室

出席者：行森良一、菊池英岳、川村将史、畠山裕司、宮本祥一、阿部久子、千葉拓也、千田文江、小野寺絵美、相原淳路

I 報告事項

1、2/23（金）平成 29 年度北日本支部内連絡会議について（行森）

- ・平成 30 年度学術活動、支部研修会等について

検体採取等の厚労省指定講習会は、来年度も 2 回開催される予定だが、受講者数が 150 名に達しない場合、再来年度からは年に 1 回の開催となる予定。

- ・支部長、日臨技理事 2 名の選出について

支部長：山寺幸雄（福島県）新任…前支部長が 3 月で定年退職されるため

日臨技理事：小島佳也（青森県）留任

平成 30 年度北海道技師会会長（今年度改選）

- ・第 69 回日本医学検査学会開催権について

2020 年 北日本支部担当 宮城（仙台国際センター）（案）

（展示スペースの事情等の理由から仙台国際センターが適当。）

- * 本来は北日本学会の開催予定地は 2019 年山形、2020 年福島、2021 年宮城、2022 年岩手であるが、2020 年に宮城で日本医学検査学会を開催し、福島と宮城の技師が多く関わることになるため、2020 年の北日本支部学会は岩手での開催の可能性が高い。

- ・臨床検査技師連盟から

連盟の会費について、何度か引き上げの議論はなされてきたが引き上げには至っていない。平成 29 年度加入目標 8,000 人・口として、各都道府県に会員数に応じた加入獲得者をお願いし、勧誘費等に充てる為各都道府県に一律 5 万円を寄付してきた。結果、昨年に比し、1,000 口ほど増加し 15 県が目標に達したが、目標の半分程度の 4,300 口に留まった。

平成 29 年度は単年収支の赤字は繰越金で対応したが、平成 30 年度においては平成 29 年度に比し支出の増加が見込まれることから、会費の引き上げが決定した。

平成 30 年度は周知期間として、平成 31 年度から会費が引き上げられる。

II 各事業について

1、学術部（千葉）

- ・精度管理報告会

3/10(土)午後 1:30～5:00 岩手医大循環器医療センター9F 2 番講義室

送付されている CD-R から、各施設で印刷し持参してもらう。

参加証明書も同封してある。

(い わ て)

2、公益部（川村）

- ・来年度の検査と健康展について

開催日、開催場所等検討中。北部地区の予定としているが、集客の面で難しいかもしれない。毎年11月に開催しているが、11月以前の開催も視野に入れている。開催場所の候補地はショッピングセンター ニコア、二戸広域観光物産センターなにかーと、シビックセンター周辺。3～4月中に決定予定。期日は10月14日（日）で検討してみる。

3、総務部（菊池）

- ・日本臨床検査薬協会プロモーション地区会（仙台開催）について

2018年2月19日（月）に日本臨床検査薬協会プロモーション地区会に参加した。150名程の参加者があり、内容は体外診断用医薬品の競争法コンプライアンス等についてであった。

- ・会員名簿作成について

年度末の退職者、新年度の移動、新規採用等あるので年度明けに配布できるよう準備を進める。

4、生涯教育（宮本）

- ・平成29年度の生涯教育活動について

開催された行事は46回で例年並みであった。参加者数は基礎教科平均18.1名、専門教科平均24.4名で、昨年よりそれぞれ若干減少していた。教科別の開催状況は基礎教科11回、専門教科35回であった。会員がバランスよく受講していくうえで来年度は基礎教科の開催が増えるよう期待する。

- ・後援事業の行事登録について

年度途中から後援事業も日臨技のシステムで登録するようになり業務が軽減した。

Ⅲ協議事項

1、岩臨技役員の情報伝達・共有ツール、サイボウズLive（無料）の利用停止について

- ・現在、岩臨技役員の情報伝達・共有ツールとしてサイボウズLiveを活用しているが、サイボウズLive（無料）は平成31年4月で終了する。同社の有料製品であるサイボウズofficeは利用料が1人当たり月500円であるため、年間174000円（500円×29人×12か月）の経費増加となる。岩臨技の会費は5000円であり、青森県は8000円、山形県は7000円、秋田県、福島県は6000円、宮城県は5000円である。宮城県の会員数は岩手県の約倍の会員数である。
- ・隣県との会費や会員数の推移、活動内容等を考えると、今のままでは活動に支障をきたすことが予想され、今以上に経費を削減するか、会費を値上げする必要性が高まっている。来年度の会費の登録は既に日臨技に申請しており、値上げとなると定款を改定する必要がある。仮に会費を1000円上げると565000円の増収となる。
- ・サイボウズの有料化のみの理由では値上げは難しいので、各会員にもっと有意義な還付が必要。

技師間の交流と親睦、技能向上の為に補助、技師会活動の啓蒙による若手の育成という観点でその一部としてサイボウズの有料化への対応とした方が良い。

- ・他の情報伝達・共有ツールやサイボウズの利用数についても検討する。

(い わ て)

- ・今年度も収支は赤字であると思われる。今後の収支状況も考慮して検討していく。
- 2、ホームページの管理について
 - ・現在、畠山副会長が個人の PC を使って管理している。個人の負担が増えないようにしたい。
業者に委託すると月額 20000 円程度かかる。他の業者からも見積もりを取り、収支状況を見て今後検討していく。
- 3、第 7 回北日本支部医学検査学会（平成 30 年 11 月 10・11 日：青森市）の演題について
 - ・毎年、演題数が少なく困っている。各地区 1～2 演題程度を目標にお願いしたい。

IVその他

- ・各地区活動報告
 - 〈北部地区：阿部〉今年度は 3 回研修会を行ったが、参加者が少ない状況。開催日時、場所、内容等のアンケートを取り参加者を増やしたい。
 - 〈盛岡地区：川村〉今年度は 3 回研修会を行った。盛岡地区としてあっぱりレーマラソンと検査と健康展に参加協力できた。30 年度の盛岡地区役員は人事異動後に決定する。
 - 〈中部地区：千田〉今年度は 2 回研修会と検査と健康展を開催した。来年度は 3 回研修会を行う予定である。
 - 〈南部地区：小野寺〉次年度の医学検査学会は 11 月 18 日（日）奥州市前沢ふれあいセンターで行う。4 月に実行委員会を行う予定である。各地区からの演題の協力をお願いしたい。
 - 〈三陸地区〉今年度は 2 回研修会と第 22 回岩手県医学検査学会を開催した。
- ・学術誌の発刊について
投稿論文の他に精度管理報告会の総括関連を掲載する方向で動いているが、まだ論文の投稿者は決まっていない。
- ・議案書の締め切りについて
3 月 30 日（金）までに各地区と各部門の活動報告と来年度の活動計画案を提出してほしい。次回の理事会は 5 月 26 日（土）午前中に行い、午後に総会と研修会又は講演を行う予定である。内容は医療法改定や診療報酬改定、施設認証等や超音波関連で検討していく。
- ・県立胆沢病院で 5 月 12 日（土）、病院祭（健康展的なもの）を開催する。肺機能検査、バルーンアート等行う予定である。以前は中部地区で後援していた。



今回の『つなぐ』は県立久慈病院 高橋沙綾さんです

“つなぐ”

今回、県立中央病院の菅原江介くんから引継ぎました、県立久慈病院の高橋沙綾です。私たちは大学の同期で、「さーや♪」「こーすけ♪」と呼び合う仲です。在学中は彼(の愛車マーチ)に大変お世話になりました。

なにを書くべきか迷いましたが、大学～昨年までの9年間やっていた競技ダンスについて書きたいと思います。

競技ダンスとはなんぞや?という方も多いと思います。Wikiでは「競技ダンスは、社交を目的とする社交ダンスとは異なり、演技における**技術や芸術要素**を競うもので、競技会において競われる。」とあります。つまり社交ダンスを踊って優劣を競うものが競技ダンス、ということですね。競技ダンスには大きく分けてワルツ、タンゴ、スローフォックストロット、クイックステップ、ベニーズワルツからなる**スタンダード**と、チャチャチャ、サンバ、ルンバ、パソドブレ、ジャイブからなる**ラテンアメリカン**の2つがあります。

近年では芸能人がテレビ企画で挑戦するなど、目にする機会も増えましたが、まだまだマイナースポーツです。私が競技ダンスを始めるきっかけになったのも、ウリナリ社交ダンス部で杉本彩さんが踊っているのを見て、素敵だなあと思ったからです。

大学に入学したのちすぐに、**弘前大学競技ダンス部**に入部しました。部活は月・木・土に部室にて2時間の公式練習が基本で、そのほかにカップルでの個人練習、上級生になるとダンススタジオに通ってプロの先生に教えてもらい上達を目指します。練習の成果を発表する場は、年に数回ある大学生の大会や、年齢を問わないアマチュア選手が集まる大会などです。競技ダンスのいいところは、高校にあるようなスポーツ部とは違いほとんど全員が未経験者なので、実力差なくスタートできるということですね。

競技ダンスはホントにお金がかかるスポーツで、個人差はありますが例を挙げると、ダンス用シューズ1足15000円(3ヶ月でボロボロ)、ドレスのオーダー15万円(1年に1着ペース)、レッスン代1時間2000円(週2~3)、競技会への遠征費(遠いところだと東京、札幌、大阪など)...etc、もちろん部活での**飲み会費**も馬鹿になりません。(ダンス部の飲み会は汚い、とラグビー部に言われるほどの荒れた飲み会です笑)

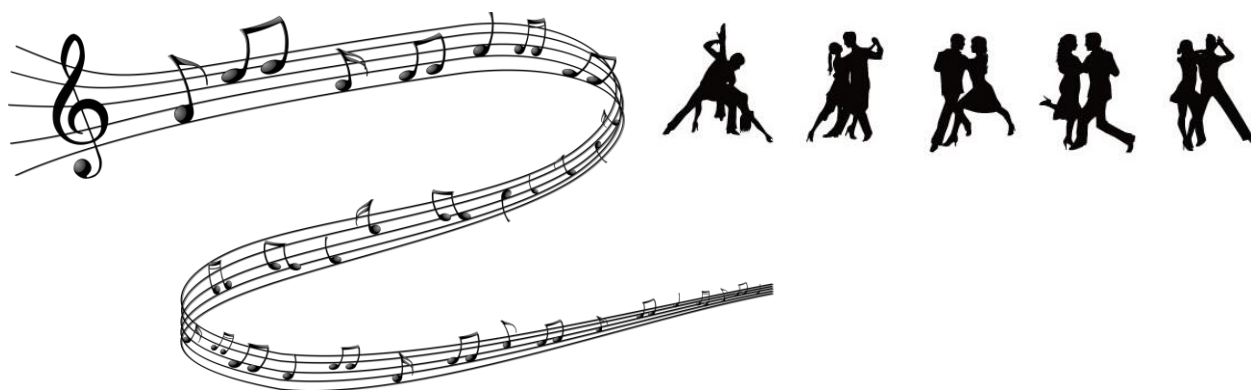
部活をやりすぎ、そのためのお金を工面するためにバイトをやりすぎ、心身がボロボロになり、何のために大学に通っているのかわからなくなった時期もありました。大きな声では言えませんが、まともに授業を聞いていた記憶がほとんどありません。国家試験の直前の模試では4割も正解していなかったの、国試に落ちたらバイトを本業にするか、ダンスのプロにでもなろうと思っていました。(実際学生ダンサーがプロダンサーになることはままあります。芸人のキンタローとかがそれです。)しかし**不眠不休**の追い込みの成果がでたのか、無事国試験合格…。ダンサーではなく**臨床検査技師**になってしまいました。

(い わ て)

久慈にきてからはダンススタジオのパーティーでデモを踊ったりしていましたが、昨年区切りをつけることにしました。学生時代から文字通り命を燃やして踊ってきたので、ぽっかり心に穴が開いたような心地もします。今は新たな趣味を探していますが、あそこまで熱くなれるものには二度と出会えないだろうと感じます。

競技ダンスの魅力を書くつもりが、部活のしすぎで国試に落ちそうだった、というはなしになってしまいました。社交ダンスは健康増進にも効果的で、年をとっても続けられるスポーツなので、もしなにか体を動かしたいと考えている方がいたらオススメです！社交ダンス教室はわりと世の中にあふれているので、興味があれば気軽に門をたたいてみてください。

次回は県立二戸病院の菊池可奈子さんにつなぎたいと思います！



精度管理調査報告会・研修会



平成 30 年 3 月 10 日（土）に岩手医科大学循環器医療センターにて、平成 29 年度（第 23 回）岩臨技精度管理調査報告会・研修会が開催されました。各部門長から精度管理調査の報告と、「臨床検査室に求められる品質マネジメントシステム（QMS）について＝医療法改正が求めている“検査の品質・精度の確保”について考える」と

題しまして、オーソ・クリニカル・ダイアグノスティクス株式会社の清 康一 先生に、医療法の改正に伴い私たちが準備すべきことなどを分かり易く講演していただきました。各部門長の皆さん、準備運営にあたられた役員の方々、そして参加された会員のみなさん、お疲れ様でした

研修会のご案内

【平成 30 年度盛岡地区技師会定期総会及第 66 回盛岡地区研修会】

日時：平成 30 年 5 月 10 日（木）18:30～20:10（受付開始 18:00～）
場所：盛岡市立病院 2 階 大会議室
参加費：無料（非会員 5,000 円）
日臨技生涯教育点数：基礎教科 20 点
内容：平成 30 年度盛岡地区技師会定期総会 18:30～19:00
第 66 回盛岡地区研修会『顕微鏡の基礎セミナー』 19:10～20:10
オリンパスメディカルサイエンス販売株式会社 佐藤藤太先生

【第 8 回日本検査血液学会東北支部 総会・学術集会】

テーマ

『次世代にツナグ、ツタエル、検査血液学～知と技のブラッシュアップ～』

日時：平成 30 年 6 月 2 日（土）11:20～17:45
(血液像セミナー I (事前登録制) は 9:10～)

場所：東北大学医学部 星陵会館 医学部開設百周年記念ホール
会費：1,000 円（平成 30 年度年会費として）

【平成 30 年度第 5 回北日本支部病理部門研修会】

テーマ：『もっと、もっと病理学—知識を深め、技術を高める—』
日時：平成 30 年 6 月 16 日（土）13:00～ 17 日（日）12:00
場所：湯沢東映ホテル（住所）新潟県南魚沼郡湯沢町湯沢 3459
受講料：日臨技会員 6,000 円 非会員 8,000 円
日臨技生涯教育点数：基礎教科 30 点
定員：130 名

【平成 30 年度第 1 回感染制御部門研修会】

日時：平成 30 年 6 月 23 日（土）14:30～ 17:00
場所：岩手医科大学附属病院医学部 5 階 1 番講義室
受講料： 無料（非会員 5,000 円）
日臨技生涯教育点数：専門 20 点

*詳細は HP 等でご確認ください

(い わ て)

第 23 回岩手県医学検査学会のお知らせ

岩手県医学検査学会 in 南部

テーマ『臨床検査技師の可能性と多様性 (仮)』

日時：2018年11月18日(日)

会場：前沢ふれあいセンター(奥州市)

*4/16～ホームページ公開(一部)

*5月～JAMTSにて演題募集開始予定

*公開講演、技術セミナーの内容等は未定です



～編集後記～

最近は徐々に暖かくなってきて、やっと春が近づいてきたなあと感じますね。

春の楽しみの1つは山菜採り。実家の近所には沢山の山菜が自生(?)していますが、中でも私はタラの芽が大好きです。(やはり天ぷらが最高です☆)。近所のおじさん・おじいさんたちと競うように採っています。桜もキレイで外に出るのにちょうどいい季節ですので、運動も始める…つもりです(小)

会報「いわて」第318号 2018. 04

一般社団法人岩手県臨床衛生検査技師会

発行人：

会 長：行森 良一

事 務 局：畠山 裕司

編集責任者：相原 淳路

小野寺 絵美

〒020-8505 盛岡市内丸19-1 岩手医大 中検内

Tel.(019)651-5111 内線 3746 Fax.(019)654-8510

<http://www.iwateamt.or.jp/>

会報専用メールアドレス：

kaiho@iwateamt.or.jp